

# 公益社団法人 日本地下水学会 2011年度 定期代議員総会 議事録

1. 開催日時：2011年5月14日 14:00～16:00

2. 開催場所：東京都千代田区六番町2  
国際航業株式会社 会議室

3. 代議員総数：29人

4. 出席代議員数：25人 ○：出席、×：欠席

公益社団法人 日本地下水学会代議員							
今泉 眞之	○	今村 聡	○	江種 伸之	○	蛇原 雅之	○
小野寺真一	×	開発 一郎	○	川端 淳一	○	高坂 信章	○
斎藤 庸	○	嶋田 純	○	杉田 文	○	鈴木 弘明	○
谷口 真人	○	辻村 真貴	×	徳永 朋祥	×	登坂 博行	×
中川 啓	○	中島 誠	○	中屋 眞司	○	長谷川琢磨	○
菱谷 智幸	○	平山 利晶	○	深田 園子	○	藤縄 克之	○
前川統一郎	○	松山 秀明	○	丸井 敦尚	○	村田 正敏	○
靱井 和郎	○						

5. 議長：代議員 村田 正敏

6. 議事録作成者：代議員 今村 聡

## 7. 代議員総会資料

- 資料－1：公益社団法人日本地下水学会 2010年度事業報告書
- 資料－2：公益社団法人日本地下水学会 2010年度貸借対照表
- 資料－3：公益社団法人日本地下水学会 2010年度損益計算書
- 資料－4：公益社団法人日本地下水学会 2010年度財産目録
- 資料－5：公益社団法人日本地下水学会 2010年度監査報告書
- 資料－6：公益社団法人日本地下水学会 2011年度事業計画書
- 資料－7：公益社団法人日本地下水学会 2011年度予算
- 資料－8：理事監事の選出について

## 8. 議事の経過の要領およびその結果

定刻に至り、司会進行役が4. のとおり総代議員の議決権の数の過半数に相当する代議員の出席もしくは委任状があったので、本会は適法に成立したので開会する旨を宣した。議長の専任について代議員に諮ったところ、満場一致をもって代議員 村田正敏氏が議長に選任された。村田正敏代議員は、

議長席に着き、直ちに議事に入った。

開始に先立ち、総務委員長川端淳一より代議員選出の経緯、それに関する「日本地下水学会定款」、「日本地下水学会施行細則」の説明がおこなわれた。

## 【審議事項】

### 第1号議案：2010年度決算報告の件

- ・議長の指名により、会計委員長高坂信章から、資料-2,3,4に基づき2010年度貸借対照表、損益計算書、財産目録に関する報告があった。引き続き、監事三宅紀治から、資料-5に基づき適正な執行がなされていることを確認したとの報告がおこなわれた。2010年度決算について代議員に諮ったところ満場一致で了承された。

### 第2号議案：2011年度、2012年度監事選出の件

- ・監事選出方法について、総務委員長川端淳一から、選出方法に関する説明があり了承された。立候補、推薦もいずれもなく、理事会からの推薦として、前川統一郎代議員、村田正敏代議員、平山光信氏（大成基礎設計株式会社代表取締役）3名の推薦があり、それぞれの監事候補者ごとに決議したところ全ての候補者が満場一致で了承され、3名の監事が決定した。

### 第3号議案：2011年度、2012年度理事選出の件

- ・理事候補選出候補として、嶋田純代議員、杉田文代議員、中屋眞司代議員、丸井敦尚代議員、今村聡代議員、平山利晶代議員の計6名が推薦された。
- ・代議員全員により投票により、嶋田純代議員、丸井敦尚代議員、今村聡代議員の3名が理事候補選出人に決定した。
- ・理事候補選出により14名の理事候補が選出された。14名の理事候補は下記のとおりである。（50音順）

今村聡代議員、蛇原雅之代議員、川端淳一代議員、高坂信章代議員、斎藤庸代議員、嶋田純代議員、杉田文代議員、谷口真人代議員、徳永朋祥代議員、中島誠代議員、中屋眞司代議員、平山利晶代議員、松山秀明代議員、丸井敦尚代議員

- ・当該それぞれの理事候補ごとに決議したところ全ての候補者が満場一致で了承され、14名の理事が決定した。

## 【報告事項】

### 1. 2010年度事業報告の件

- ・議長の指名により、総務委員長川端淳一から、資料-1に基づき2010年度事業報告があった。

### 2. 2011年度事業計画の件

- ・議長の指名により、総務委員長川端淳一から、資料-6に基づき2011年度事業計画に関する報告があった。質疑については下記のとおりである。
- ・公益事業と共通事業に関する区別に関する質疑については、公益社団法人認定を受ける際に、提出した事業内容別に区別している旨の回答があった。
- ・来年度事業計画について、東日本大震災に関する貢献についての計画を盛り込んだほうがよいのではないかとの意見があった。4月に内閣府に提出した東日本大震災に関する活動に関する資料があるが、今回の事業計画には反映できていない。今後HPを通じて広報に努めるとの回答があった。
- ・地球温暖化関連の研究グループやIGESとの共同活動においては、英文での発信を行い、IPCCやUNESCO等国際的に活躍を広げて行った方がよいのではないかとの意見があった。今後、谷口代議員等の活動を紹介してもらい、前向きに検討する旨の質疑がおこなわれた。

3. 2011 年度予算に関する件

- ・議長の指名により、会計委員長高坂信章から、資料-7に基づき 2011 年度予算に関する報告があった。

以上をもって本日の議事が終了したので、議長は 16 時 00 分閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、本議事録を作成し代表理事及び監事が次に記名押印する。

2011 年 5 月 14 日

公益社団法人日本地下水学会 代議員総会

議 長：村田 正敏



議事録作成者：今村 聡



## 2010年度 事業報告書

日本地下水学会は2010年8月5日に公益社団法人に認定された。2010年度は公益社団法人化後初の事業年度となった。ここに2010年度の事業報告を記す。

本学会における事業は以下のように分類されている。

公益事業-1 [公1]：地下水に関する学術結果等を収集、編集、公表する事業

公益事業-2 [公2]：地下水に関する講習会、シンポジウム、見学会等を開催する事業

公益事業-3 [公3]：地下水に関する特定テーマの技術開発、研究等を行う事業

公益事業-4 [公4]：地下水に関する相談事業

その他 [他1]：表彰事業

共通事業 [共通]：共通事業

[公1]：地下水に関する学術結果等を収集、編集、公表する事業

### 1. 学会誌編集

- ①会誌52巻第2号、第3号、第4号、会誌53巻第1号を発刊した。第52巻総ページ数427。
- ②53巻第1号から誌面講座「地中熱利用技術」の掲載を開始した。
- ③学会掲載論文等の電子公開を第52巻4号からJ-STAGEを利用して開始した。

### 2. 定期講演会の開催

#### ①日本地球惑星科学連合2010年大会

日時：2010年5月23日（日）～28日（金）六日間

場所：幕張メッセ国際会議場

主催：日本地球惑星科学連合 加盟52学協会  
(日本地下水学会共催・関連セッション3)

#### ②春季大会（横浜）

日時：2010年5月29日（土）

場所：慶応大学 矢上キャンパス

参加者等：参加者数131名、講演件数40件、展示件数2件

#### ③第16回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会

日時：2010年6月17日（木）、18日（金）

場所：仙台市民会館

主催：(社)日本地下水学会、(社)廃棄物資源循環学会、(社)地盤工学会、(社)日本水環境学会、(社)土壌環境センター

#### ④秋季大会（和歌山）

日時：2010年11月11日（木）～13日（土）

場所：和歌山県民交流プラザ 和歌山ビッグ愛

参加者等：参加者数135名、講演件数67件、展示件数3件

[公 2]：地下水に関する講習会、シンポジウム、見学会等を開催する事業

1. 講習会の開催

地下水シミュレーション講習会

日 時：2010年7月9日（金）

場 所：(社)地盤工学会 大会議室

参加者等：参加者数 131 名、講演件数 40 件、展示件数 2 件

2. 見学会の開催

湧水見学会「つくば湧水ツアー」を 2010 年 5 月 30 日につくば市と共催で参加者 48 名を集めて開催した。

[公 3]：地下水に関する特定テーマの技術開発、研究等を行う事業

- ①「地下水への人工涵養方法に関する研究グループ」は、2009 年度秋季講演会での特別セッション「涵養」における研究内容の報告を成果とした後、本年度で活動を終了した。
- ②「地球温暖化と地下水の水資源評価に向けた課題抽出研究グループ」では、地球温暖化と地下水環境の関係や地下水資源の保全と管理の必要性に関する検討項目を抽出し、各項目についての研究成果の現状の整理を開始した。
- ③「地下熱利用技術の高度化と普及促進に関する研究グループ」では、他学会等における類似の研究内容・成果の精査を開始するとともに、地下熱利用について会誌に誌面講座の連載を開始した。
- ④地下水用語集編集委員会では、50 周年記念事業の一環として、「地下水用語集（仮称）」の出版のための編集作業を進めた。

[公 4]：地下水に関する相談事業

- ① HP「とりもどそうきれいな地下水」による情報発信、質問の受付と回答を行った。

[他 1]：表彰事業

- ①公益法人化に伴い表彰規定の見直しを行った。
- ②学会表彰規則に則り技術賞、学会功労賞、地下水学術賞等の被表彰者を選考、推薦し、若手優秀講演者賞を決定した。

[共通]：共通事業

1. 学会情報普及事業

- ①学会員を含む、広く一般の方々を対象に、HP 上に、学会、及び、関連団体等の最新情報を掲示・更新した。
- ②メール受信を希望する会員を対象に、メールニュースを発信した。

2. 学会法人化活動について

前年度総会決議に基づき公益社団法人を目指すため必要書類の準備作成を行い、申請手続きを実施した。その結果 2010 年 8 月 5 日内閣府より公益社団法人 日本地下水学会として認定を受け、公益社団法人としての活動を開始した。

3. 国内外関連団体交流事業

- ① (財)地球環境戦略研究機関 (IGES) との協力・連携のあり方について IGES との間で協議を進めた。
- ② (財)地球環境戦略研究期間 (IGES) 主催の「持続可能なアジア太平洋に関する国際フォーラム (ISAP2010)」(2010 年 7 月 12 日～13 日、於:パシフィコ横浜)を後援するとともに、テーマ別セッション “Coping Strategies for Groundwater Under Threat (危機に直面する地下水への対処戦略)”

にパネラーを推薦した。

#### 4. 2011年、2012年度代議員選出

2010年12月～2011年1月にかけて定款、細則に基づき代議員を選出した。

#### 5. 会計関係

- ① 2011年度予算を策定し、理事会において決議した。
- ② 会員の増強、未納会費の徴収、経費の節減により健全運営を図った。
- ③ 会費長期未納者のリストアップ、会費納入に関する通告を行い、未対応者は定款10条に基づき資格の喪失を理事会により確認した。
- ④ 会費徴収の確実化、効率化を目的として、ゆうちょ銀行の自動払込利用の募集を行った。

#### 6. 会員動向

- ① 会員管理の効率化のために、会員番号の付与を行った。
- ② 正会員：774名、準会員数：43名、名誉会員：15名、特別会員：58団体（2011年3月15日現在）

## 損益計算書

自：2010年4月1日

至：2011年3月31日

〔単位：円〕

科目	年度予算額	認定前決算額	認定後決算額	年度決算額	差異
I. 収入の部					
1. 会費収入	7,385,000	2,805,274	4,332,976	7,138,250	▲ 246,750
正会員会費	5,453,000	1,867,466	3,137,534	5,005,000	▲ 448,000
準会員会費	152,000	52,055	71,945	124,000	▲ 28,000
特別会員会費	1,360,000	465,753	734,247	1,200,000	▲ 160,000
過年度分会費	420,000	420,000	389,250	809,250	389,250
2. 学会誌関連収入	1,655,000	925,165	1,162,626	2,087,791	432,791
広告費収入	450,000	120,000	340,000	460,000	10,000
別刷り等販売費収入	550,000	171,825	316,575	488,400	▲ 61,600
雑誌購読費収入、図書印税収入	655,000	633,340	506,051	1,139,391	484,391
3. 講演会等収入	3,047,000	839,000	1,746,800	2,585,800	▲ 461,200
春季講演会関連収入	1,070,000	839,000	0	839,000	▲ 231,000
秋季講演会関連収入	1,977,000	0	1,746,800	1,746,800	▲ 230,200
4. 講習会等収入	530,000	875,300	0	875,300	345,300
地下水シミュレーション講習会関連収入	530,000	875,300	0	875,300	345,300
5. 雑収入	0	0	580	580	580
受取利息	0	0	580	580	580
当期収入合計 (A)	12,617,000	5,444,739	7,242,982	12,687,721	70,721
前年度繰越	4,944,426	4,944,426	6,239,361	4,944,426	0
収入合計 (B)	17,561,426	10,389,165	13,482,343	17,632,147	70,721

〔単位：円〕

科目	年度予算額	認定前決算額	認定後決算額	年度決算額	差異
Ⅱ. 支出の部					
1. 編集委員会関連	3,860,000	783,385	2,987,594	3,770,979	▲ 89,021
会誌印刷・発行費	3,500,000	717,825	2,624,603	3,342,428	▲ 157,572
編集委員会費	360,000	65,560	362,991	428,551	68,551
2. 行事委員会関連	2,999,000	821,935	1,881,513	2,703,448	▲ 295,552
春季講演会開催費	690,000	792,255	0	792,255	102,255
秋季講演会開催費	1,944,000	0	1,768,738	1,768,738	▲ 175,262
シンポジウム開催費	0	0	0	0	0
行事委員会費	365,000	29,680	112,775	142,455	▲ 222,545
3. 企画委員会関連費	634,080	692,884	160	693,044	58,964
地下水シミュレーション講習会費	434,080	692,244	0	692,244	258,164
調査研究グループ費	140,000	0	0	0	▲ 140,000
企画委員会費	60,000	640	160	800	▲ 59,200
4. 市民コミュニケーション委員会関連	187,000	69,470	76,352	145,822	▲ 41,178
体験見学ツアー費	82,000	59,240	5,240	64,480	▲ 17,520
相談事業費	0	0	0	0	0
市民コミュニケーション委員会費	105,000	10,230	71,112	81,342	▲ 23,658
5. その他委員会	1,256,000	365,972	108,474	474,446	▲ 781,554
渉外委員会費	20,000	10,105	0	10,105	▲ 9,895
表彰委員会費	40,000	37,015	2,970	39,985	▲ 15
技術者継続教育関連費	226,000	160,840	5,105	165,945	▲ 60,055
IT委員会費	200,000	42,574	9,030	51,604	▲ 148,396
雑誌販売費	0	0	1,620	1,620	1,620
社員総会費	20,000	4,498	0	4,498	▲ 15,502
理事会費	460,000	106,500	39,419	145,919	▲ 314,081
総務委員会費	160,000	4,440	50,330	54,770	▲ 105,230
選挙管理委員会費	130,000	0	0	0	▲ 130,000
10. 一般管理費	3,915,000	1,416,158	2,668,396	4,084,554	169,554
当期支出合計 (C)	12,851,080	4,149,804	7,722,489	11,872,293	▲ 978,787
当期収支差額 (A) - (C)	- 234,080	1,294,935	- 479,507	815,428	1,049,508
次期繰越収支差額 (B) - (C)	4,710,346	6,239,361	5,759,854	5,759,854	1,049,508

〔単位：円〕

科目	年度予算額	認定前決算額	認定後決算額	年度決算額	差異
一般管理費					
給料手当	1,200,000	488,300	975,100	1,463,400	263,400
臨時雇賃金	200,000	31,500	25,200	56,700	▲ 143,300
旅費交通費	300,000	134,720	262,540	397,260	97,260
通信運搬費	350,000	133,846	340,562	474,408	124,408
支払手数料	0	24,864	11,425	36,289	36,289
減価償却費	35,000	0	34,861	34,861	▲ 139
消耗什器備品費	0	5,070	82,723	87,793	87,793
消耗品費	80,000	5,723	69,003	74,726	▲ 5,274
修繕費	0	0	71,232	71,232	71,232
光熱水料費	0	25,722	52,804	78,526	78,526
賃借料	1,500,000	525,000	735,000	1,260,000	▲ 240,000
保険料	0	13,000	0	13,000	13,000
諸謝金	50,000	0	0	0	▲ 50,000
租税公課	100,000	23,300	0	23,300	▲ 76,700
雑費	100,000	5,113	7,946	13,059	▲ 86,941
合計	3,915,000	1,416,158	2,668,396	4,084,554	169,554

# 貸借対照表

2011年3月31日 現在

[単位：円]

科 目	金 額	
I. 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	7,039,046	
前渡し金	533,718	
未収金	33,803	
前払い金	525,000	
流動資産合計		8,131,567
2. 固定資産		
基本財産		
敷金	300,000	
基本財産合計	300,000	
その他の固定資産		
什器備品	162,587	
その他の固定資産合計	162,587	
固定資産合計		462,587
資産合計		8,594,154
II. 負債の部		
1. 流動負債		
未払法人税等	0	
未払い金	48,300	
前受金	2,786,000	
流動負債合計		2,834,300
2. 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		2,834,300
III. 正味財産の部		
正味財産		5,759,854
(うち当期 (公益認定後) 正味財産増減額)		- 479,507
負債及び正味財産合計		8,594,154

## 貸借対照表 内訳表

2011年3月31日現在

(円)

科目	当年度末 2011/03/31	公益認定時 2010/08/04	前年度末 2010/03/31	増減
I. 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金	7,039,046	6,992,923	7,691,185	▲ 652,139
現金手許有高	124,134	- 2,958	129,870	▲ 5,736
普通預金	721,339	1,919,753	1,926,157	▲ 1,204,818
みずほ銀行築地支店 (旧口座)	373,706	961,112	1,397,722	▲ 1,024,016
みずほ銀行築地支店 (社団法人口座)	347,633	958,641	528,435	▲ 180,802
振替貯金	6,193,573	5,076,128	5,635,158	558,415
ゆうちょ銀行 (旧口座)	164,828	987,828	2,476,828	▲ 2,312,000
ゆうちょ銀行 (社団法人口座)	6,028,745	4,088,300	3,158,330	2,870,415
前渡金	533,718	252,830	197,600	336,118
編集委員会	340,000	132,760	197,600	142,400
市民コミュニケーション委員会	43,718	120,070	0	43,718
秋季講演会実行委員会	150,000	0	0	150,000
未収金	33,803	1,420,985	361,773	▲ 327,970
企画委員会	0	194,660	82,892	▲ 82,892
行事委員会	26,331	139,106	0	26,331
秋季講演会実行委員会	7,472	0	278,881	▲ 271,409
会費	0	1,087,219	0	0
前払金	525,000	0	0	525,000
前払家賃	525,000	0	0	525,000
流動資産合計	8,131,567	8,666,738	8,250,558	▲ 118,991
2. 固定資産				
その他の固定資産	462,587	377,868	377,868	84,719
敷金	300,000	300,000	300,000	0
什器備品	162,587	77,868	77,868	84,719
固定資産合計	462,587	377,868	377,868	84,719
資産合計	8,594,154	9,044,606	8,628,426	▲ 34,272
II. 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	48,300	23,300	455,000	▲ 406,700
未払費用	48,300	0	420,000	▲ 371,700
未払法人税等	0	23,300	35,000	▲ 35,000
前受金	2,786,000	2,781,945	3,229,000	▲ 443,000
前受会費	2,786,000	2,781,945	3,229,000	▲ 443,000
流動負債合計	2,834,300	2,805,245	3,684,000	▲ 849,700
2. 固定負債				
固定負債合計	0	0	0	0
負債合計	2,834,300	2,805,245	3,684,000	▲ 849,700
III. 正味財産の部				
1. 指定正味財産	0	0	0	0
2. 一般正味財産	5,759,854	6,239,361	4,944,426	815,428
正味財産合計	5,759,854	6,239,361	4,944,426	815,428
負債および正味財産合計	8,594,154	9,044,606	8,628,426	▲ 34,272

## 監査報告書

2011年4月23日

公益社団法人 日本地下水学会  
代表理事 会長 藤縄 克之殿

公益社団法人 日本地下水学会

監事 前川 統一郎

監事 三宅 紀治

私たちは、2010年4月1日から2010年8月4日までの一般社団法人 日本地下水学会 第2期事業年度および2010年8月5日から2011年3月31日までの公益社団法人 日本地下水学会 第1期事業年度の業務および計算書類について監査を実施し、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

### 1. 監査の方法の概要

監事は、一般に認められた監査手続きに従い、理事会に出席する他、事業報告書、計算書類につき慎重に検討を加えました。

### 2. 監査の結果

- (1) 貸借対照表、損益計算書及び付属明細書は、決算の状況を正しく示しており、指摘すべき事項は認められません。
- (2) 事業報告書は、公益社団法人 日本地下水学会の業務運営の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) 理事の職務執行に関し、不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

以上

## 公益社団法人 日本地下水学会 2011 年度 事業計画書

日本地下水学会は、2010年8月5日に公益社団法人として認定された。今後日本地下水学会は定款第3条「地下水に関する研究、技術開発及び普及に関する事業を通じて、地下水資源の保全と有効利用、地下水に関わる諸問題の解決に貢献し、社会の発展に寄与することを目的とする。」に基づき、広く社会の公益に資するための事業を展開する義務を負うことになった。今年度は公益認定後、初の事業年度が開始される年であり、上記目的を安定して達成していくための体制整備と着実な事業推進を行うことが強く求められる年であると認識している。本学会は既に定款、細則に基いて新しい代議員の選出を行っており、また新年度に向けて理事が選出され新しい執行体制が整備されることになる。

新体制の下で展開する予定の事業計画を以下に記す。

本学会における事業は以下のように分類されている。

公益事業－1 [公1]：地下水に関する学術結果等を収集、編集、公表する事業

公益事業－2 [公2]：地下水に関する講習会、シンポジウム、見学会等を開催する事業

公益事業－3 [公3]：地下水に関する特定テーマの技術開発、研究等を行う事業

公益事業－4 [公4]：地下水に関する相談事業

その他 [他1]：表彰事業

共通事業 [共通]：共通事業

それぞれの項目毎に事業計画を記す。

### [公1] 地下水に関する学術結果等を収集、編集、公表する事業

#### 1. 学会誌編集

①会誌第53巻第2号、第3号、第4号、第54巻1号（総ページ400程度）を発刊する。

②会誌掲載論文の電子公開を引き続き実施する。また、既報論文等の電子公開について検討を行う。

#### 2. 定期講演会の開催

##### 【主催イベント】

①日本地球惑星科学連合2011年大会

日時：2011年5月22日（日）～27日（金）

場所：幕張メッセ

②春季講演会

日時：2011年5月28日（土）

場所：つくば国際会議場

③第17回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会

日時：2011年6月16日（木）、17日（金）

場所：サンピアンかわさき

主催：（公社）日本地下水学会、（社）廃棄物資源循環学会、（公社）地盤工学会、（社）日本水環境学会、（社）土壌環境センター

④秋季講演会

日時：2011年10月20日（木）～22日（土）

場所：広島市文化財団西区民文化センター

**[公 2] 地下水に関する講習会、シンポジウム、見学会等を開催する事業**

**1. 講習会の開催**

講習会「地下水シミュレーション実習」を開催する。

日時：2011 年秋頃（2 日間の予定）

場所：都内（予定）

**2. シンポジウムの開催**

①「地下水涵養－水循環プロセスにおける地下水－」

日時：2011 年 5 月 28 日（土）14：00～15：50 春季講演会と同時開催

場所：つくば国際会議場

主催：（公社）日本地下水学会、日本水文科学会合同

②シンポジウム「これからの地下水資源の利用と管理（仮称）」を開催する。

日時：2011 年 9 月頃

場所：東京都内

**3. 見学会の開催**

湧水見学会「都区内の湧水ツアー（仮称）」を 2011 年 6 月～9 月に開催する。

**[公 3]：地下水に関する特定テーマの技術開発、研究等を行う事業**

① 50 周年事業の一環として編集を進めている「地下水用語集（仮称）」を出版する。

②「地球温暖化と地下水の水資源評価に向けた課題抽出研究グループ」による書籍「地下水の真実－地球温暖化からの警告（仮称）」の執筆作業および出版準備を進める。

③一般市民向け啓発事業の一環として「地下水の本の本（仮称）」と「地下水の科学のビジュアル版（PPT）」の出版等について検討を行う。

④「地球温暖化と地下水の水資源評価に向けた課題抽出研究グループ」および「地下熱利用技術の高度化と普及促進に関する研究グループ」の活動を継続する。

⑤新規研究グループの募集活動を行う。

**[公 4]：地下水に関する相談事業**

① HP「とりもどそうきれいな地下水」による情報発信、質問の受付と回答を行う。

**[他 1]：表彰事業**

①学会表彰規則に則り、技術賞、学会功労賞、地下水学術賞等の被表彰者を選考、推薦し、若手優秀講演賞を決定する。いずれも決定後表彰する。

②学会名誉会員推薦内規に則り、名誉会員候補者を推薦、決定後表彰する。

**[共通]：共通事業**

**1. 国内関連団体交流**

①外部機関との協力体制のあり方の検討・企画を行う。

②（財）地球環境戦略研究期間（IGES）との協力・連携を継続して行うとともに、今後の協力・連携の方針について検討・企画する。

**2. 学会情報普及事業**

①学会員を含む、広く一般の方々を対象に、HP を通じた、最新情報の発信に努める。

- ②メールニュースによる、情報発信を強化する。
- ③インターネットを通じた学会運営の強化を図る。

### 3. 会計関係

- ①公益目的事業毎の会計体系内で、収支相償、公益事業費 50%以上の確保、遊休財産公益事業費 1 年度分以内といった認定条件を維持するよう運営・管理する。
- ②会員の増強を図るとともに、未納会費の徴収、経費の節減に取り組む。

### 4. その他

公益法人としての円滑な学会運営を図る。

## 公益社団法人 日本地下水学会 2011 年度予算

事業名	公益目的事業等会計						収益事業等会計		法人会計	合計
	公1	公2	公3	公4	公共	合計	その他1	合計		
	雑誌発行, 定期講演会 開催	講習会 開催, シンポ ジウム, 見学会	技術 開発, 研究	相談 事業	公益事業 共通費		表彰			
事業収益（収入）										
会費収入	0	0	0	0	3,365,000	3,365,000	0	0	3,365,000	6,730,000
参加費収入	1,838,000	2,110,000	0	0	0	3,948,000	0	0	0	3,948,000
広告費収入	610,000	0	0	0	0	610,000	0	0	0	610,000
販売費収入	1,928,000	0	0	0	0	1,928,000	0	0	0	1,928,000
受取寄付金	1,300,000	0	0	0	0	1,300,000	0	0	0	1,300,000
合計	5,676,000	2,110,000	0	0	3,365,000	11,151,000	0	0	3,365,000	14,516,000
事業費（支出）										
給料	417,600	86,400	0	0	0	504,000	28,800	28,800	907,200	1,440,000
臨時雇賃金	170,000	0	0	0	0	170,000	0	0	150,000	320,000
会議費	965,000	150,000	20,000	5,000	0	1,140,000	0	0	20,000	1,160,000
旅費交通費	744,600	629,400	120,000	75,000	0	1,569,000	14,800	14,800	466,200	2,050,000
通信運搬費	485,000	20,000	0	0	0	505,000	0	0	360,000	865,000
減価償却費	10,150	2,100	0	0	0	12,250	700	700	22,050	35,000
消耗品費	17,000	0	0	0	0	17,000	20,000	20,000	120,000	157,000
印刷製本費	3,660,000	325,000	0	0	0	3,985,000	20,000	20,000	0	4,005,000
光熱水料費	29,000	6,000	0	0	0	35,000	2,000	2,000	63,000	100,000
賃借料	1,332,000	384,000	0	0	0	1,716,000	28,000	28,000	882,000	2,626,000
保険料	8,000	0	0	0	0	8,000	0	0	0	8,000
諸謝金	20,000	510,000	0	0	0	530,000	0	0	50,000	580,000
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	100,000	100,000
支払負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	221,000	221,000
委託費	939,000	0	0	0	0	939,000	0	0	0	939,000
雑費	10,000	50,000	0	0	0	60,000	0	0	130,000	190,000
合計	8,807,350	2,162,900	140,000	80,000	0	11,190,250	114,300	114,300	3,491,450	14,796,000
収支	- 3,131,350	- 52,900	- 140,000	- 80,000	3,365,000	- 39,250	- 114,300	- 114,300	- 126,450	- 280,000